

3月

# 畜産総合センターようじん通信

平成30年3月

## ○各関係機関主催会議に出席しました

畜産総合センターでは、系統豚を通じて県内生産者のみなさまの経営を支えるため、各地域の関係機関と連携しながら生産・譲渡を行っています。

各地域の情報や新しい知見の入手及び関係機関と連携して実施すべきこと等を模索するため、以下2つの会議に出席しましたので情報提供します。

### ①畜産に関する農業技術体系化促進会議 2月26日

(出席者：各農業改良普及課及び農業総合試験場ほか)

- ・ 守口漬残さ(漬物本体ではなく、つけ粕)の飼料化が可能。乾物の配合飼料に混合して利用できる。嗜好性は良いが塩分濃度が高いため、給餌量等に注意が必要。(詳細は農業総合試験場にお問い合わせください)
- ・ 来年度、一部地域の農業改良普及課がアイリスW3の生産成績等について調査を行う予定。

### ②豚疾病サーベイランス事業担当者会議 3月9日

(出席者：各家畜保健衛生所ほか)

#### <発泡消毒について>

- ・ 動力噴霧器に専用ノズルを接続し、消毒液を泡状にして噴霧するもの。
- ・ 発泡消毒により車両や豚房の消毒を実施している農家では、PRRSの清浄化や慢性疾病の制圧に成功している例が多い。
- ・ 感作時間が長いので効果が高い。さらに、吹付箇所が目で見えてわかりやすいため、「消毒漏れ」が発生することを防ぐことができる。

#### <PRRS・PEDの清浄化について>

- ・ 何年もかかった事例もあるが、県内で清浄化を達成した農家は増えつつある。
- ・ いずれも車両消毒、豚房洗浄・消毒、交差汚染防止対策など、地道な取組みを諦めずに「続ける」ことが大事。
- ・ 免疫の安定状況確認は各地域の家畜保健衛生所に相談を。



#### <車両の発泡消毒>

泡を吹きかけた部分が分かりやすく、消毒液を効率よく使用できるため、消毒薬の節約につながる場合もある。

## ◇地産地消に係る愛知県の取組について

地域で「人とのつながり」を構築することや地域経済の活性化を目的として、独自に地産地消に貢献する流通・販売に取り組まれている方もおられるかと思えます。

本県では、消費者と生産者が一緒になって、あいちの農林水産業を支えていこうという「いいともあいち運動」を推進しており、シンボルマーク“あいまる”を使って、運動の周知と県産品の利用をアピールしています。

また、団体・事業者・消費者それぞれに「つながり」を作る媒体を運営しておりますので御紹介します。

### ①団体や事業者向け：いいともあいちネットワーク

- ・シンボルマーク・のぼり旗など各種 PR 資材の無料貸し出しを受けられる。
- ・毎月、会報「いいともあいちだより」（メールまたは FAX で配信）により県等が主催する PR イベント等の情報及び出展資格を得られる。
- ・県が運営する広報媒体（愛知県ホームページ、Facebook ページ等）を利用して商品やイベント情報等を PR することができる。

### ②消費者向け：いいともあいちサポーター

- ・毎週、メールマガジン「あいまる通信」により愛知県産農林水産物に関するイベント等の情報を得られる。
- ・「いいともあいち情報広場」に愛知県産農林水産物（食べられるお店・加工品等）に係る口コミ情報を発信できる。

地産地消に関心のある方は、登録してみたいかがでしょうか？まずはインターネットで「いいともあいち」を検索するか、以下のアドレスを入力し参照してみてください。

○いいともあいち情報広場

<http://www.pref.aichi.jp/nourin/iitomo/iitomoaichi/index.html>

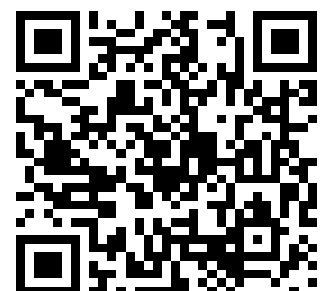
（連絡先）

◇畜産総合センター : 0564-21-0201



「いいともあいち運動」とは

- ① 消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- ② Eat more Aichi products  
(イート モア アイチ プロダクツ)  
もつと愛知県産品を食べよう  
(利用しよう)



QRコード